

サルトルの文学

倫理と芸術のはざまを奏でる受難曲

川神 傅弘 著



関西大学出版部

川神傅弘 著

関西大学出版部

サルトルの文学

倫理と芸術のはざまを奏でる受難曲

故三木治先生に

目次

序論	爆発するエンジン	サルトル	1
第一部	不易なるもの	サルトルのこだわり	29
第一章	『嘔吐』	テーマの外側にあるもの	31
	—— L'esprit de sérieux	「くそ真面目の精神」の拒否	——
第二章	<i>Carnets de la drôle de guerre</i>	奇妙な戦争のメモ	53
	—— 本来性へのこだわり	——	
第二部	自由の希求	73
第一章	自由への《Les chemins》	75
第二章	ゲッツ 《変貌》に見る	90
	—— 十六、十八、二十世紀を生きた一精神史	——	
第三部	レトリック	—— スカトロロジーとパラテキスト	127
第一章	サルトルにおける『糞便論的記述』	129
第二章	サルトル スカトロロジーへの郷愁	155

第三章 『嘔吐』における「緒言」の意味	183
—— 問題小説のささやかなる美学 ——	
第四部 サルトルの他者観 眼差しと被害者意識	209
第一章 Sartreと眼差し	211
第二章 『他者』意識の〔実在〕と〔非実在〕	225
第三章 サルトルとbiographie	251
—— サルトルにおける伝記的アプローチ ——	
第四章 サルトルの「愛」と「他者」	271
第五部 時代と思想	299
第一章 フランス現代文学に見る〔不条理〕の実体	301
—— カミュ、マルロー、サルトル ——	
第二章 サルトルの実存的「不安」について	332
第三章 『汚れた手』と『奇妙な戦争のメモ』のはざま	349
あとがき	379
註	383
テキストと引用・参考文献	(1)